

長泉町・さわやかハイキング報告書

通算山行NO	NO・98	報告者	鈴木 恵美子
年月日	2011年01月16日(日)晴・強風・低温	2万5千	伊東
山名	伊豆 矢筈山(816m)		
体力度=3・普通      技術度=3・普通      藪漕=有り      道標=池にはない(分かりにくい) トイレ=無し      展望度=良い      三角点=ない			
<h2>低山でも気をつけよう矢筈山</h2>			
コースとタイム	下土狩駅6:43→熱海駅→伊豆高原駅8:07→登山開始8:20→池9:20→鹿路庭(ろくろば)11:20→矢筈山12:27→池のくぼ地13:05-13:55→鹿路庭14:05→ろう人形館前14:57→バス15:30→伊豆高原駅15:53→三島17:00→花の舞(新年会)		
標高差	上り 伊豆高原駅70m~矢筈山816m=約746m 下り "		
参加者	CL・後藤隆徳、伊藤従人、伊藤陽子、大川章子、河野光江、峰田光江、津田てる子、鈴木恵美子、小松真明、堀江義明、増田真理子、村山忠彦=12名		

今年初の登山は電車で行く伊豆の山「矢筈山」(ゲンコツ山)とも言われ、小さな双頭峰の山は長泉からも見ることが出来る。

伊豆高原駅を8時20分出発。駅のロータリーには樹齢150年の楠木と足湯の施設がある。天気は快晴だが低温で風があるためかなり寒く感じる。風を受けながら緩やかなのぼりの車道を池地区に向かって歩くと、右手には大室山が綺麗な姿を見せてくれる。



池から矢筈山

後1ヶ月もすると山焼が行われ  
黒い大室山を見る事が出来る



「池のさと」(地図A)でトイレ休憩。ここまでおよそ1時間、左手には矢筈山。以前はこの池の集落から登ることが出来たらしいが今は廃道になってし

まっているようだ。

池から鹿路庭峠に向けてさらに歩いていくと、いつしか林道の終点に（地図B）、道がなくなっている。少し戻り改めて峠までの登り口を捜す。朽ちた道標のようなものがあり道らしきものが、ここから登る。この時点ですでに10時20分（地図C）。荒れた沢沿いの道を上り道なき道を峠目指して足元に気をつけ慎重に登る。しばらくすると峠に到着。（地図E）

ここが  
鹿路庭峠（ろくろば）  
から矢筈山登山口



低い土手を上がると明瞭な踏跡があり、崩れそうな場所を過ぎると後は歩きやすい。すると1つ目のくぼ地に着く（地図F）。湧水が行く道をつらなくしているためここで道を探して時間をロスする登山者が多いとインターネットに書き込みがあった。時間もないのでここに荷物をデポし矢筈山に向かう。背が軽くなったのでみんな早い早い、2つ目のくぼ地は杉の樹林帯で平坦なため走るようにそこを過ぎると次第に雪を被った岩が多くなる。

「山頂まで700m」の道標があるが小さくて分かりにくい。（地図G）気をつけないと見逃してしまう程だ。歩きにくいゴツゴツした岩の急な山道を登っていく。伊豆の火山だから大きな岩がゴロゴロとしている。



土肥Yさんの山名表示板

新雪をサクサク



12時27分山頂に到着。頂上付近には数箇所から暖かい蒸気が噴出しているそうだが今日は見られない。残念です。風も強く雪で寒さも増しているので早々に下山する。雪道は登りより下りの方が気をつけなければ危ない、エッジをきかせて滑らないように下る。

1つ目のくぼ地まで急いで戻り昼食タイム。今日は鍋焼きうどん、冷えた体を温めてくれる。ワインを飲んで、焼いたイワシに満足でした。



昼食の鍋焼きうどん



美味しいね～



はい！チーズ

10分ほどで鹿路庭峠戻り、国道111号を伊豆高原駅に向かって歩くが、かなりの距離があるので途中大室山近くの「ろう人形館前」のバス停（地図H）からバスで帰ることにする（15:30発）電車との連絡が良く待つことなく電車に乗ることが出来ました。三島に戻り新年会で今日の初登山は終わりです。

いい天気にも恵まれ楽しい1日でした。ありがとうございました。

矢筈山軌跡 (村山さん提供)

